

## 授業改善書

科目名	保育内容指導法
担当者	岡田耕一

### 授業の概要

本授業の目標は、保育所、幼稚園の保育内容と指導方法の基本原則を修得することにある。さらにその学習成果は、保育所実習や幼稚園実習で、本授業の学習成果を発揮することにある。

テキストは「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」であり、両著を徹底的に理解することにある。講義ではあるが、保育所、幼稚園の目的、内容、方法について、事例を取り上げ、学生への質問も交えながら、できるだけアクティブ・ラーニングを取り入れることを心掛けている。

### 授業の問題点

(1) 春期の授業は2・3時限にあり、2時限は48名、3時限は69名であり、受講者数の違いがある。私の授業では、学生に質問をして、学生の答えにさらに応答するなど、対話を大切にしている。そのために、人数の多いクラスの授業では、一方的な講義にならないように、できるだけ多くの学生に質問をするように努めて、2クラスの授業の進め方の差がないようにした。そのことが功を奏したのかもしれないが、アンケート集計結果を見ると、3時限クラス(人数の多いクラス)のほうが全体的に評価は高くなっている。

### 授業改善の課題・方策

(1) 2・3時限どちらのクラスについても、「Ⅰ 授業内容について」の評価は4.3以上である。「Ⅱ 授業方法について」の評価は4.52以上である。さらに「Ⅲ 授業全体について」の評価は4.30以上である。従って学生は、私の授業に満足していると判断できる。

(2) 3時限クラスの評価で、「授業内容に興味や関心を持ちましたか」が4.51、「授業の内容はあなたにとって得るところのあるものでしたか」が4.62、さらに「授業は、はっきりした言葉で行われましたか」が4.75、「板書や映像資料は見やすく、ノートしやすかったですか」は4.73である。私は常に「わかりやすい授業、興味をひく授業、役に立つ授業」に努めているが、以上の評価より、この点は学生に認められていると判断できる。

(3) 課題として、「授業外学習(予習や復習など)をしましたか」の評価が2.77であり、極端に低くなっている。授業では、予習としてできれば次回内容のテキストのページを読むこと、復習としてできればテキストの読み返しをすることを学生に伝えているが、十分に徹底できていないようである。学生全員に予習・復習の徹底をすることは難しい。

(4) 「質問や発言をしましたか」の評価が2.72であり極端に低くなっている。現在の学生には、授業中に質問をすることを期待することはできない。そこで、教師である私は、こちらから学生に質問をして、学生の発言を引き出すことに努めている。そのことが功を奏して、「学生からの質問などにきちんと対応しましたか」の評価は4.60で非常に高い評価を得ている。

### その他

学生の自由記述として、事例をあげて話すので理解しやすい、保育者と保育現場の現状について話すので実習でも役に立つと思う、といった意見が多く見受けられた。このような意見は授業をする者にとって、これからもポジティブに進めることができ、ありがたく思う。